

ウクライナ支援緊急企画写真展

「姉妹都市 オデーサに思いを」

開催のお知らせ



ユモリナの祭りで 撮影：オレグ・クツキー



土嚢が積まれた市街地 撮影：ミリュエチン・ドミートリ

横浜とオデーサ（オデッサ）は、共に戦火による焦土の中から復興したこと、同じく国際港湾都市であることをご縁として、1965年に姉妹都市となりました。オデーサ市は、人口約108万人を擁するウクライナ南西部の港湾都市で、首都キーウ（キエフ）、ハリキウ（ハリコフ）に次ぐウクライナ第3の都市です。「黒海の真珠」とも呼ばれる街並みを誇り、世界屈指の観光地であり、ユーラシアの歴史ある街です。

横浜ユーラシア文化館では、横浜市国際局やオデーサ在住写真家などの協力を得て、オデーサの歴史・街・人びとを紹介する写真展を開催します。ロシアのウクライナ侵攻以前の写真からは、美しい街とそこに暮らす人びとの生き生きとした姿が伝わってくる一方、侵攻後の写真には緊張下にあるオデーサの街の様子が表れています。

本写真展を通し、姉妹都市オデーサの人びとに思いをはせていただければ幸いです。写真展開催中は、会場に募金箱を設置し、観覧料は義援金としてウクライナ避難民等に対する人道支援のために寄付します。

【主催】横浜ユーラシア文化館（公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団）

【共催】横浜市教育委員会 【後援】横浜市国際局

【会期】2022年4月28日（木）～5月29日（日）

【開館時間】午前9時30分～午後5時（券売は閉館の30分前まで）

【休館日】毎週月曜日

【会場】横浜ユーラシア文化館1階ギャラリー（無料）、2階常設展示室の一部（有料）

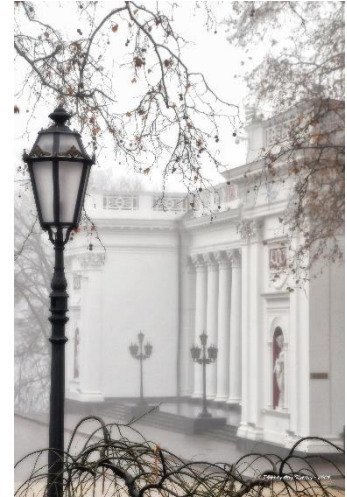
【観覧料（常設展示室）】一般200円、小・中学生100円、市内在住65歳以上100円

ただし、ハマフェスY163の5月28日（土）・29日（日）は全館無料。

【展示資料点数】オデーサの街・人びとの写真約30点、横浜の写真約10点、合計約40点。

■展示の見どころ■

1 ウクライナ侵攻前 「黒海の真珠」と称されるオデーサの街と人びとの姿



左：オデーサの結婚式 右：霧の議会前広場 撮影：オレグ・クツキー

2 ウクライナ侵攻後 緊張下にあるオデーサの表情



ガードマン

撮影：ミリューチン・ドミートリ

猫が歩く海岸線には上陸を阻むための鉄条網と障害物が見える。



砦 撮影：オレグ・クツキー

土嚢は、通りの奥に見えるオデーサを代表する建物、オペラ・バレエ劇場（1887年再建）を守る砦のようだ。

3 オデーサと横浜の風景比較

姉妹都市提携 55 周年の 2020 年に開かれた「オデッサ・横浜 Web 写真展」から、両市の類似の建物や景色の写真を数点比較展示します。



国旗の日のポチョムキン階段（1842年建造）

撮影：オレクサンドル・ギマノウ



山下公園の水の階段 撮影：平山勝太郎

お問合せ先

横浜ユーラシア文化館 副館長：伊藤 泉美（展示） 神谷 量子（広報） Tel 045-663-2424